

KOKUYO

2025年12月期第3四半期決算概要

2025年10月31日

目次

1. 2025年12月期 第3四半期実績
2. 2025年12月期 通期目標
3. 事業別概要
4. トピックス
5. 参考資料

※ それぞれの事業は以下のように表記しています。

ファニチャー事業＝FN

ビジネスサプライ流通事業＝BS

ステーションリー事業＝ST

インテリアリテール事業＝IR

※ 百万円未満を切り捨てています。

そのため内訳と合計及び差額が一致しない場合があります。



【2025年12月期第3四半期実績】

- ✓ 売上高、EBITDA、営業利益、は、前年同期を上回って順調に進捗し、全社及び各事業において概ね修正目標(2025年7月30日公表)に沿って推移
- ✓ FN事業において、中国で進捗に遅れが見られるものの、日本では旺盛なオフィス需要を取り込み、前年同期を大幅に上回る
- ✓ 四半期純利益は、概ね想定通りに進捗

【2025年12月期通期目標】

- ✓ 全社及び事業別業績は、2025年7月30日公表の修正目標から変更なし
- ✓ 4Qは各事業及び本社における成長投資の実施により減益を見込むも、来期及び第4次中計に向けた戦略を推進
- ✓ FN事業は、中国の進捗遅れ等により4Qは増収微減益を見込むも、日本における案件確保は引き続き順調に進捗し、堅調に推移
- ✓ アスクル社システム障害を受け、カウネット(BS事業)への顧客流入が見られるものの、現時点の業績見通しには未反映

【その他】

- ✓ 10月に創業120周年を記念してロゴ変更等のリブランディングを実施
- ✓ 自社株買い(200億円)は、達成に向けて概ね計画通りに進捗

120周年を機にリブランディングを実施し、ロゴを刷新

自律協働社会の実現を目指す新しいコーポレートメッセージとして「好奇心を人生に」を設定

<新ロゴとコクヨ初のコーポレートメッセージ>

KOKUYO
好奇心を人生に

<リニューアルしたコーポレートサイト イメージ>





1. 2025年12月期 第3四半期実績

2025年12月期 第3四半期実績(対前年)

売上高、EBITDA、営業利益は、前年同期を上回って順調に進捗
修正目標(2025年7月30日公表)に沿って推移

単位：百万円

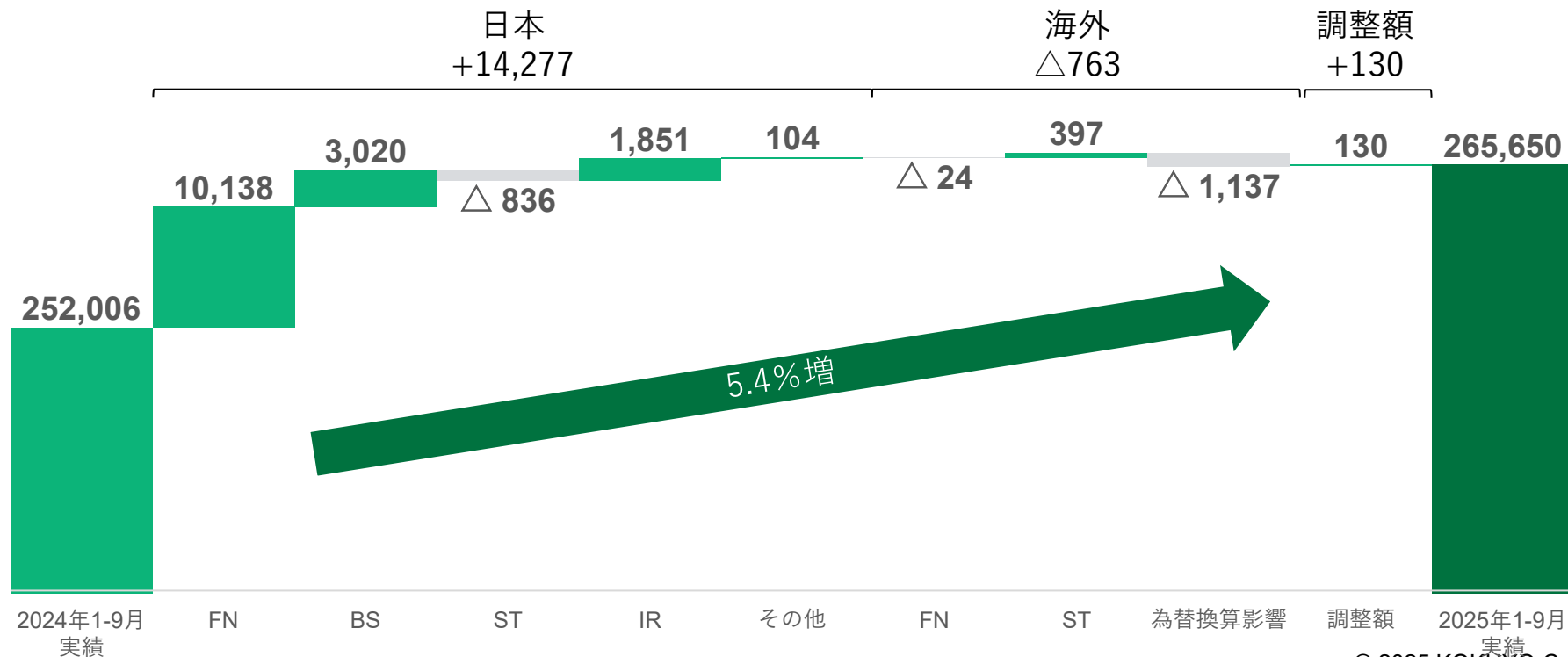
	3Q				3Q累計			
	2024年 実績	2025年 実績	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	2024年 実績	2025年 実績	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率
売上高	73,020	80,443	+7,423	+ 10.2%	252,006	265,650	+13,644	+ 5.4%
売上総利益	28,649	32,039	+3,390	+ 11.8%	100,118	107,769	+7,651	+ 7.6%
(率)	39.2%	39.8%	-	+ 0.6pt	39.7%	40.6%	-	+ 0.8pt
EBITDA	4,216	5,966	+1,750	+ 41.5%	24,595	27,707	+3,112	+ 12.7%
(率)	5.8%	7.4%	-	+ 1.6pt	9.8%	10.4%	-	+ 0.6pt
営業利益	1,961	3,800	+1,839	+ 93.8%	17,890	21,490	+3,600	+ 20.1%
(率)	2.7%	4.7%	-	+ 2.0pt	7.1%	8.1%	-	+ 1.0pt
親会社株主に帰属 する四半期純利益	748	2,912	+2,164	+ 289.3%	16,374	16,723	+349	+ 2.1%
(率)	1.0%	3.6%	-	+ 2.5pt	6.5%	6.3%	-	△0.2pt
海外売上高比率	13%	13%			13%	12%		

(注) 当第1四半期連結会計期間より、一部の賃貸等不動産の損益表示方法を変更したため、表内の売上高、売上総利益、営業利益、EBITDAは組替え後の数値です。

2025年12月期 第3四半期実績（売上高増減分析：対前年）

日本は、好調なオフィス市況を背景に案件獲得を進めるFNが増収を牽引
 海外は、STが中国等の影響により3Q累計で増収転換、FNは新規連結影響で3Q(7-9月)は増収
 （為替影響除く）

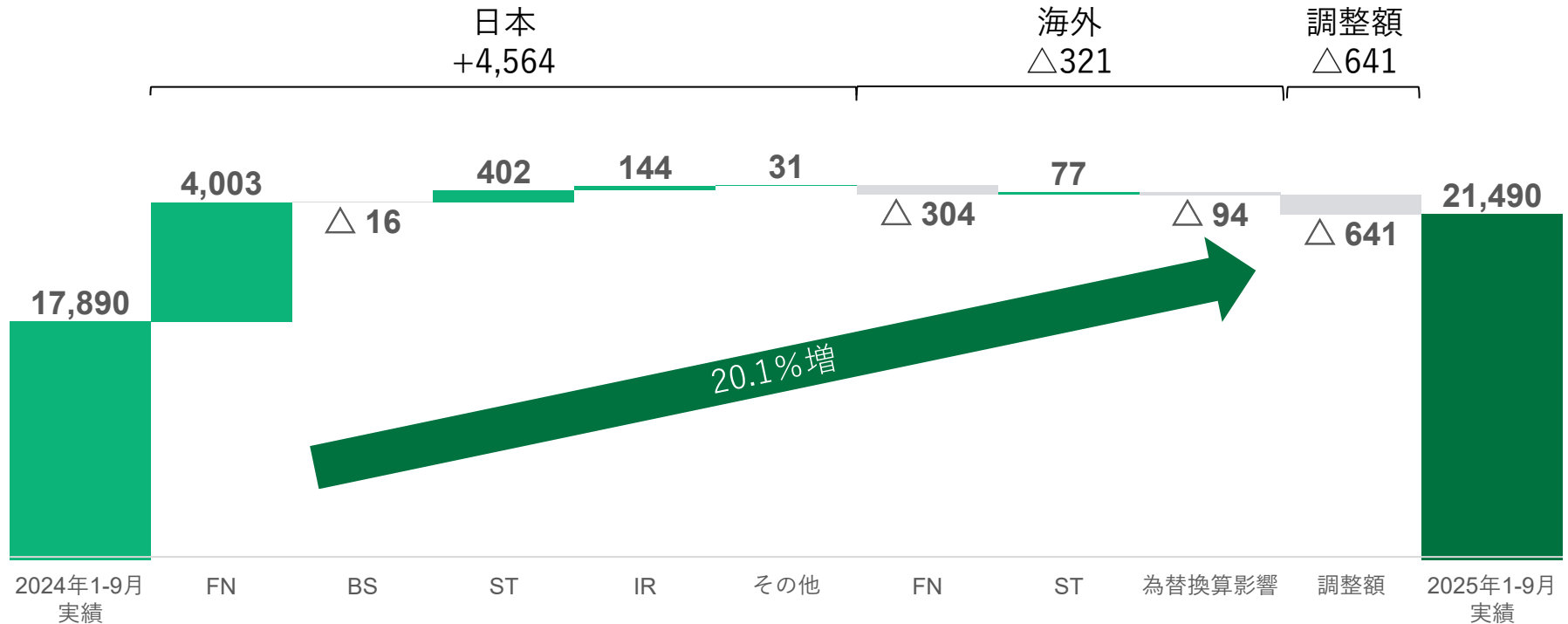
単位：百万円



日本FNは、増収効果や収益改善等により増益

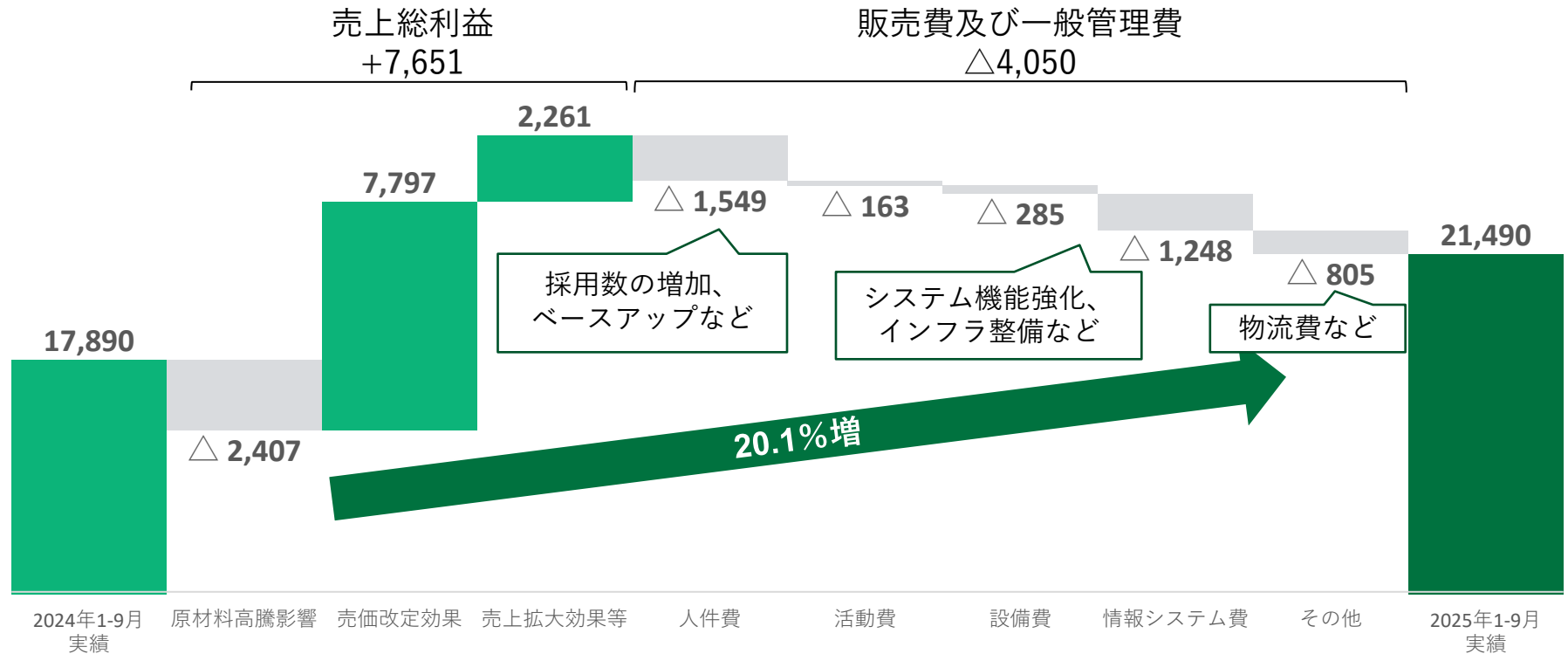
日本STは、コストダウンや売価改定の浸透等により、減収影響を上回る増益を実現

単位：百万円



コスト増影響を受けるも、日本FNや日本STを中心に売価改定および原価低減効果が継続
中長期戦略推進に向けた人件費および情報システム費等の戦略経費支出を実施

単位：百万円



キャッシュフローの状況

営業CFは法人税等支払額の増加等より、前年同期比18億円の減少
投資CFは、設備投資の増加等により、前年同期比48億円のキャッシュアウト増

	2024年1-9月 実績	2025年1-9月 実績	対前年比 増減	主な増減要因
営業キャッシュフロー	+9,564	+7,713	△ 1,851	・ 法人税等支払額の増加
投資キャッシュフロー	+786	△ 4,073	△ 4,859	・ 設備投資の増加 ・ 非事業資産売却による資金収入差
フリーキャッシュフロー	+10,350	+3,640	△ 6,710	
財務キャッシュフロー	△ 14,673	△ 26,148	△ 11,475	・ 配当金支払額の増加 ・ 自己株式取得による支出の増加
現金及び現金同等物に係る 換算差額	+360	△ 513	△ 873	
新規連結に伴う増加額	+2,650	-	-	
現金及び現金同等物 四半期末残高	113,850	109,059	△ 4,791	

バランスシートの状況

営業CFを上回る投資CF、財務CFのマイナスにより、現金及び現金同等物は減少
順調な業績進捗の一方、自社株買いの進捗等により自己資本は減少

	2024年12月末	2025年9月末	前期末比
現金及び現金同等物	132,080	109,059	△ 23,021
売上債権及び契約資産	75,383	66,318	△ 9,066
棚卸資産	38,853	41,560	+2,707
その他流動資産	6,566	6,689	+122
有形固定資産	63,241	62,360	△ 881
無形固定資産	12,961	14,338	+1,377
投資有価証券	22,362	19,659	△ 2,703
その他固定資産	11,509	12,114	+603
総資産	362,959	332,100	△ 30,857
仕入債務	54,357	40,580	△ 13,776
有利子負債	4,177	3,698	△ 480
その他負債	40,361	32,914	△ 7,446
負債	98,896	77,193	△ 21,702
自己資本	260,552	251,404	△ 9,148
非支配株主持分	3,509	3,502	△ 7
純資産	264,062	254,906	△ 9,155
自己資本比率	71.8%	75.7%	+ 3.9pt

単位：百万円

3. 2025年12月期 通期目標

2025年12月期通期目標

2025年7月30日公表の修正目標の達成を目指す

4Qは、粗利増益を見込むも一過性費用(リブランディング等)や戦略経費増により営業減益見込み

	通期				4Q				単位：百万円
	2024年 実績	2025年 修正目標	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	2024年 実績	2025年 見通し※	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	
売上高	338,837	357,000	+18,163	5.4%	86,831	91,350	+4,519	5.2%	
売上総利益	133,424	144,700	+11,276	8.5%	33,306	36,931	+3,625	10.9%	
(率)	39.4%	40.5%	-	+1.1pt	38.4%	40.4%	-	△2.1pt	
EBITDA	31,493	34,000	+2,507	8.0%	6,898	6,293	△ 605	△8.8%	
(率)	9.3%	9.5%	-	+0.2pt	7.9%	6.9%		△1.1pt	
営業利益	22,531	25,000	+2,468	11.0%	4,642	3,510	△ 1,132	△24.4%	
(率)	6.6%	7.0%	-	+0.4pt	5.3%	3.8%	-	△1.5pt	
親会社株主に帰属 する当期純利益	21,787	20,500	△ 1,287	△5.9%	5,413	3,777	△ 1,636	△30.2%	
(率)	6.4%	5.7%	-	△0.7pt	6.2%	4.1%	-	△2.1pt	
海外売上高比率	13%	13%	-	-	-	-	-	-	
ROE	8.5%	8%程度	-	-	-	-	-	-	

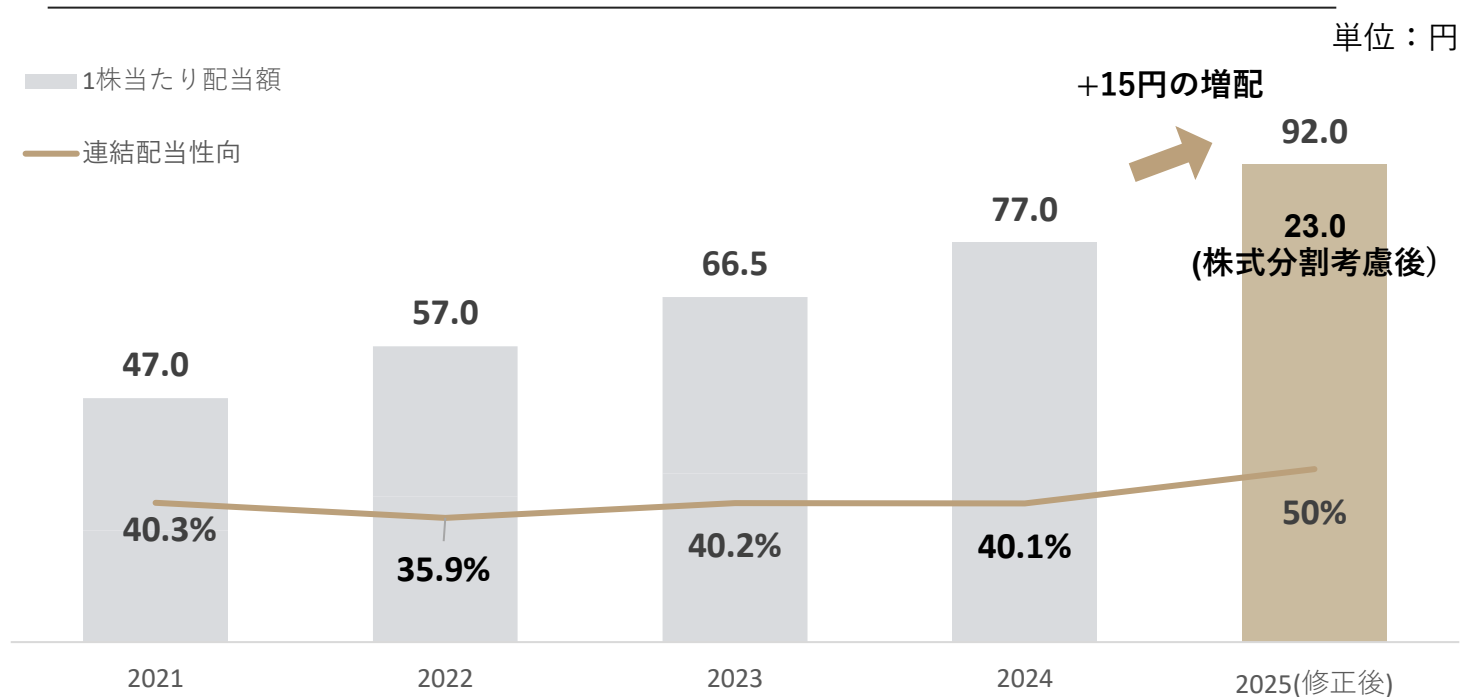
※当第1四半期連結会計期間より、一部の賃貸等不動産の損益表示方法を変更したため、表内の売上高、売上総利益、営業利益、EBITDAは組替え後の数値です。

※2025年見通しは、2025年修正目標から第3四半期実績を引いた値

株主還元

連結配当性向50%以上と累進配当方針に基づき、
年間配当金は15円増配の92円を予定(株式分割考慮前)

< 配当額及び連結配当性向の推移 >



3. 事業別概要

ファニチャー事業：業績推移

日本では、旺盛なオフィス需要が継続し、順調に進捗

中国は日系顧客を中心に厳しい市場環境が続くものの、ASEANでは案件獲得が進捗

単位：百万円

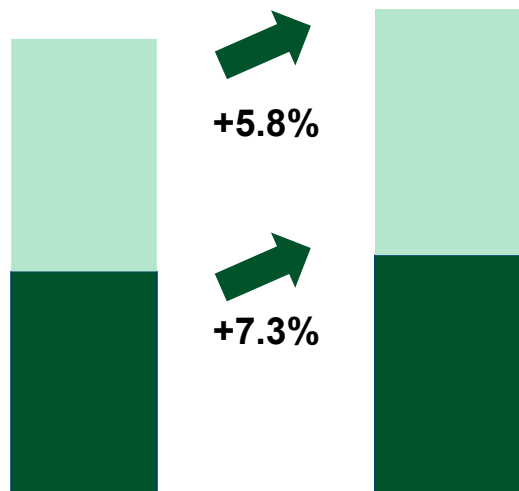
	3Q				3Q累計				通期			
	2024年 実績	2025年 実績	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	2024年 実績	2025年 実績	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	2024年 実績	2025年 修正目標	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率
売上高	32,338	36,998	+4,660	+14.4%	118,959	128,840	+9,881	+8.3%	162,415	176,000	+13,585	+8.4%
EBITDA	3,957	5,158	+1,201	+30.4%	20,157	23,375	+3,218	+16.0%	27,243	30,500	+3,257	+12.0%
(率)	12.2%	13.9%	-	+1.7pt	16.9%	18.1%	-	+1.2pt	16.8%	17.3%	-	+0.6pt
営業利益	3,007	4,333	+1,326	+44.1%	17,297	20,987	+3,690	+21.3%	23,459	27,000	+3,541	+15.1%
(率)	9.3%	11.7%	-	+2.4pt	14.5%	16.3%	-	+1.7pt	14.4%	15.3%	-	+0.9pt

(注) 当第1四半期連結会計期間より、一部の賃貸等不動産の損益表示方法を変更したため、表内の売上高及び営業利益、EBITDAは組替え後の数値です。

下期は、一部で案件の後ろ倒しがありながらも、昨年を上回る案件を保有
来年上期も今期を大きく上回る水準で案件を保有しており、引き続き好調に推移する見込み

2025年下期 案件保有量

■新築移転 ■リニューアル

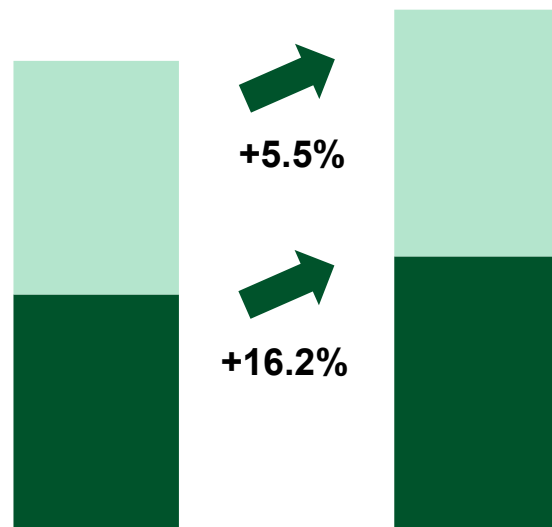


2024下期

2025下期

2026年上期 案件保有量 (10月時点)

■新築移転 ■リニューアル



2025年 上期

2026年 上期

修正目標の達成に向け、大企業向けを中心に売上高を拡大
第4四半期は、システム投資による償却費負担の増加を見込む

単位：百万円

	3Q				3Q累計				通期			
	2024年 実績	2025年 実績	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	2024年 実績	2025年 実績	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	2024年 実績	2025年 修正目標	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率
売上高	23,043	24,536	+1,493	+6.5%	74,614	77,634	+3,020	+4.0%	98,935	104,000	+5,065	+5.1%
EBITDA	1,215	1,269	+55	+4.5%	4,825	4,809	△16	△0.3%	6,236	6,100	△136	△2.2%
(率)	5.3%	5.2%	-	△0.1pt	6.5%	6.2%	-	△0.3pt	6.3%	5.9%	-	△0.4pt
営業利益	762	796	+34	+4.4%	3,470	3,454	△16	△0.5%	4,471	4,100	△371	△8.3%
(率)	3.3%	3.2%	-	△0.1pt	4.7%	4.4%	-	△0.2pt	4.5%	3.9%	-	△0.6pt

これまで以上に、柔軟なサイト改修や自社ECサイト掲載商品数の大幅増加が可能に
顧客の利便性向上や調達ニーズへの対応力を強化し、今後の更なる業績拡大を目指す

【ECサイトのUI/UX改善】

- 自社ECサイト(カウネット)を素早く柔軟に改修できるように、システムをリニューアル(9月に完了)
- 顧客の利便性向上やニーズへの対応力を強化

【品揃えの拡充】

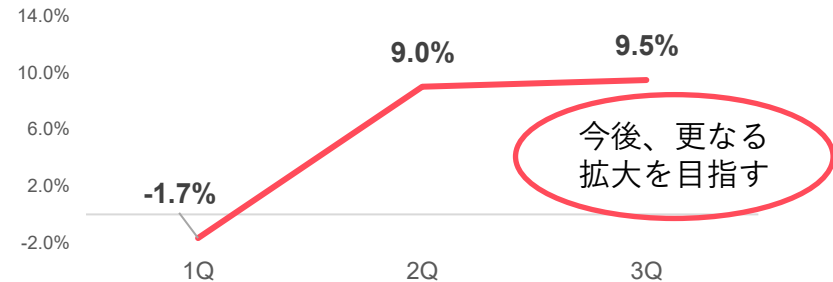
システム基盤の強化

- 9月にシステムリニューアルを完了し、自社ECサイトにおける商品登録数の上限を撤廃

品番数の大幅拡大

- 自社ECサイト掲載商品数を年内に500万品番まで拡大予定(現在進行中)

＜カウネット事業 四半期売上高成長率(対前年同期比)＞



＜自社ECサイト掲載商品数の推移(2025年9月末時点)＞
(万品番)



ステーションナリー事業：業績推移

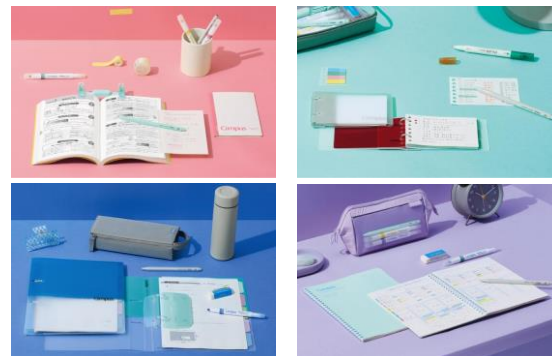
日本では、ブランド戦略の推進により収益性の改善が進捗
海外では、インドは厳しい経済情勢が継続するも、中国が増収増益に転換

単位：百万円

	3Q				3Q累計				通期			
	2024年 実績	2025年 実績	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	2024年 実績	2025年 実績	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	2024年 実績	2025年 修正目標	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率
売上高	18,797	19,399	+602	+ 3.2%	63,625	62,282	△ 1,343	△2.1%	83,575	82,000	△ 1,575	△1.9%
EBITDA	1,447	1,959	+513	+ 35.4%	6,608	7,069	+461	+ 7.0%	8,061	8,900	+839	+ 10.4%
(率)	7.7%	10.1%	-	+ 2.4pt	10.4%	11.3%	-	+ 1.0pt	9.6%	10.9%	-	+ 1.2pt
営業利益	937	1,425	+488	+ 52.1%	5,102	5,496	+394	+ 7.7%	5,993	6,600	+607	+ 10.1%
(率)	5.0%	7.3%	-	+2.3pt	8.0%	8.8%	-	+0.8pt	7.2%	8.0%	-	+ 0.9pt

“Campus”をノートブランドから学生のまなびを支える「まなびかたブランド」へ刷新

<まなびレシピ>

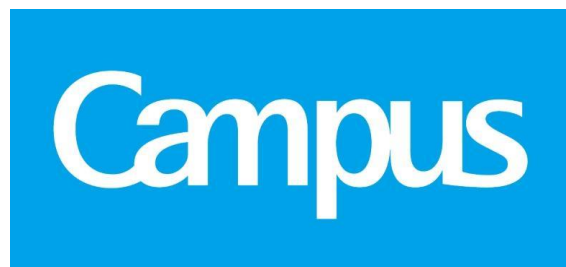


<“Campus”棚※展開予定店舗数(日本)>

イメージ

計画比 **150%**
(9月時点)

※Campusブランド商品が
面展開された専用の棚



インテリアリテール事業：業績推移

EC、BtoB事業を中心に計画通りに順調に進捗し、増収増益
第4四半期は、大型BtoB案件等の納品を予定しており、目標達成を見込む

単位：百万円

	3Q				3Q累計				通期			
	2024年 実績	2025年 実績	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	2024年 実績	2025年 実績	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率	2024年 実績	2025年 目標	対前年 同期比 増減	対前年 同期比 増減率
売上高	5,149	5,693	+544	+10.6%	15,611	17,462	+1,851	+11.9%	21,238	23,000	+1,762	+8.3%
EBITDA	187	205	+18	+9.8%	656	757	+101	+15.4%	871	1,000	+129	+14.8%
(率)	3.6%	3.6%	-	△0.0pt	4.2%	4.3%	-	+0.1pt	4.1%	4.3%	-	+0.2pt
営業利益	96	130	+34	+35.6%	397	541	+144	+36.3%	521	800	+279	+53.6%
(率)	1.9%	2.3%	-	+0.4pt	2.5%	3.1%	-	+0.6pt	2.5%	3.5%	-	+1.0pt

リテール(店舗)に加え、EC事業、BtoB事業(ホテル、レジデンス等)においても 施策が進展し、事業領域の拡張が進む

ニューマン高輪店の新規出店 (リテール領域)

- 9月12日にオープン
- 計画を上回り、好調に推移



「Poliform TOKYO」の出店 (レジデンス領域)

- 富裕層向けレジデンス領域の
拡大



「THE BASEMENT HOTEL Osaka Honmachi」のブランドデ ザイン・設計・施工(ホテル領域)

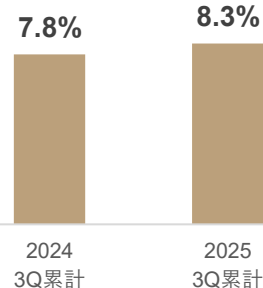
- ブランディングから施行ま
で手掛ける初の取り組み



EC事業の成長

- 収益性の高いEC事業の構成比
が高まる

< EC売上高比率 > (3Q累計実績)



4. トピックス



トピックス

画像生成AI活用で空間設計業務を支援、 「オフィススタイルAI」の社内運用を開始



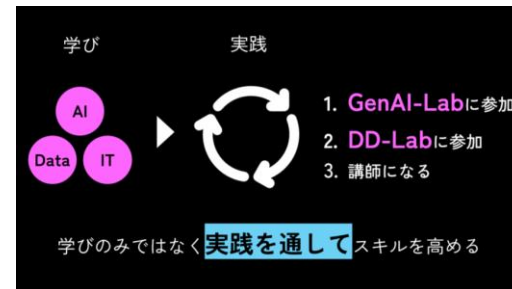
- ・空間パースや画像を、瞬時にスタイルを変えた画像へ変換する
- ・お客様が求めるイメージを短時間で画像として可視化

リサーチラボペン（耐アルコール性タイプ）が 「2025年度グッドデザイン・ベスト100」を受賞



- ・2025年度グッドデザイン賞で、マーキングペン「リサーチラボペン」が「ベスト100」を受賞
- ・グッドデザイン賞にはコクヨグループのプロダクト・サービスなど11件が受賞

「KOKUYO DIGITAL ACADEMY」season3において、 2つの実践プログラム「GenAI-Lab」「DD-Lab」を開始



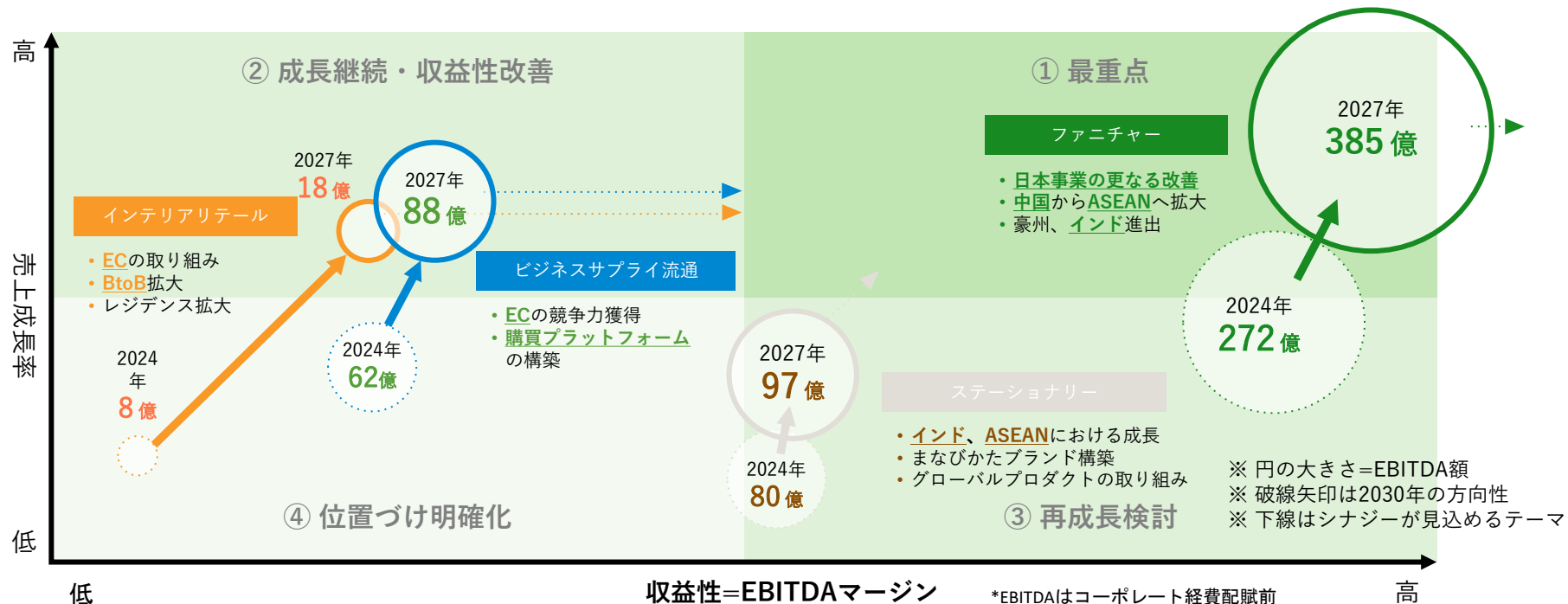
- ・「GenAI-Lab」生成AI活用の実践力強化を目的としたプログラム
- ・「DD-Lab」「Kaggle」へのチャレンジプログラム

5. 参考資料



事業ポートフォリオ磨き上げ

グループ経営の進展によって、事業ポートフォリオの磨き上げを行い、
2030年及びそれ以降に向けた持続的な成長を目指す



① 最重点

：成長投資により伸ばす

② 成長継続・収益性改善

：成長投資により伸ばすと共に、
中長期的に収益性改善を目指す

③ 再成長検討

：キャッシュカウ。成長のチャンスを見出して成長投資

④ 位置づけ明確化

：他象限への移行や他事業へのシナジーが見込めなければ
売却・撤退も視野

*EBITDAはコーポレート経費配賦前

国内外で上流から下流まで一気通貫に対応するビジネスモデルの構築を目指す
生産・物流面では、コンポーネント化と適地生産により、グローバル最適化を図る

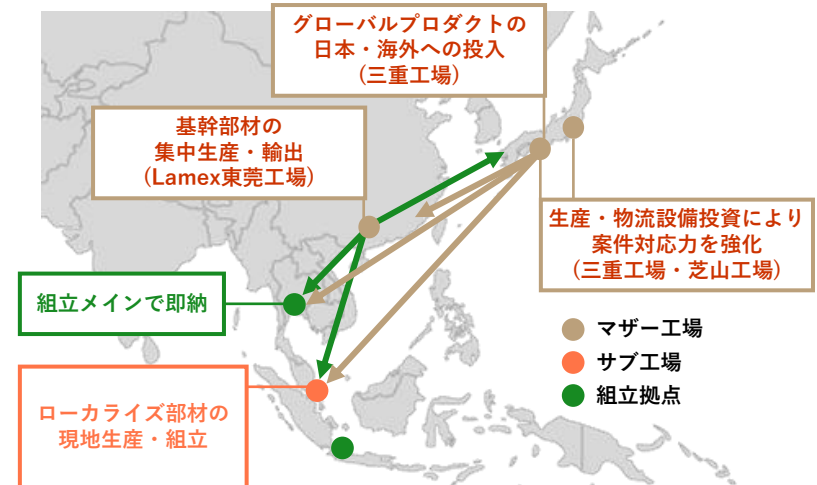
空間・人材活性化戦略と グローバルワークスタイル戦略

- 事業領域の拡張によって、オフィスライフサイクルの上流工程から下流工程まで一貫した顧客体験価値を提供し、お客様と繋がり続けるビジネスモデルを構築する



グローバルプロダクト戦略

- 日本およびアジア市場で、デザイナーに選ばれるグローバルプロダクトの開発体制を強化する
- 日本について生産・物流設備投資により案件対応力を強化するとともに、国内外の生産拠点ポートフォリオの見直しによりASEAN事業の成長に必要なQCDの課題を解決する



プラットフォーム型購買管理サービスであるべんりねっとを基盤とし、テクノロジー活用により顧客パーソナライズで最適化された購買体験を実現

大手ECとの接続による プラットフォーム強化の方向性

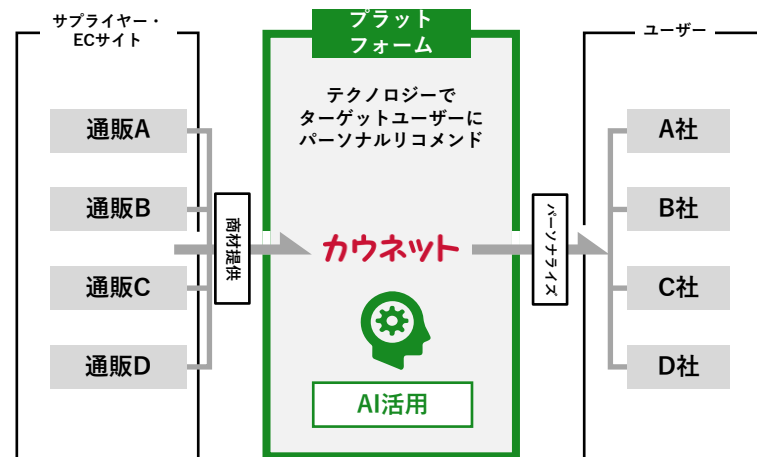
- べんりねっと基盤を活かし、下記の大規模ECサイトや専門会社などとの接続をさらに強化
- 接続サプライヤーとお客様の双方が持続的に増える、好循環を生み出すプラットフォームを実現



あらゆるお客様に
対応する利便性と、
圧倒的な品揃えを
アセットライトに実現

AI活用による顧客体験価値向上

- BtoB最大級の品揃えの中から、業種、顧客に応じてAIで最適解を導き商品提案し、シェアオブウォレットを拡大
- お客様の過去の購買履歴から必要なタイミングで商品提案し、購買にかかる時間を短縮

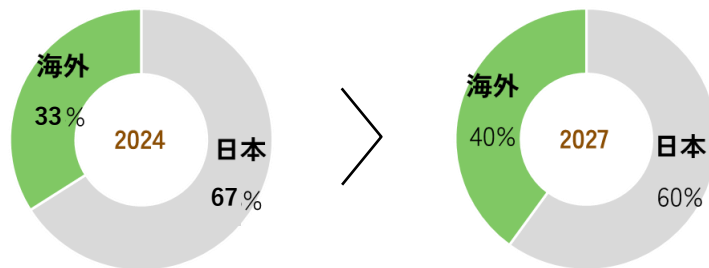


インドの成長加速とASEANのシェア拡大を軸に海外売上構成比率を高めるとともに、グローバル展開商品の原価低減に取り組むことで、事業ポートフォリオを高収益事業に転換

エリアポートフォリオの転換

- 新規エリア開拓と既存海外事業の成長により海外売上構成比 33%→40%を実現すると共に、特定エリアへの依存度を低減
- インドでは、従来の学童、大人ターゲット（画材）に加え学生をターゲットとした顧客創造を目指す
- ASEANでは、Campusブランド商品を軸に販売パートナーとの関係性を構築すると共に、SNS・イベントを通じて顧客の認知や信頼を得ることで、2027年に導入店舗数1,000店超を目指す

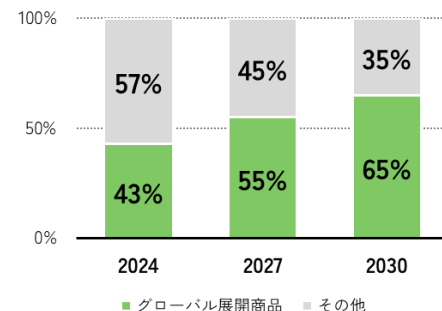
売上構成比



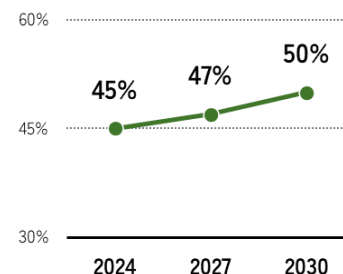
商品ポートフォリオの転換

- 筆記具含むグローバル展開商品は、各エリア共通化をはかり、内製化による原価低減を実現する
- 粗利率の高いグローバル展開商品の売上構成比を高めることで、収益構造の転換を目指す
- Campusブランドの競争優位性を維持・強化していくために、まなびかたの体験価値の研究/検証を行う顧客とのタッチポイントを強化する

グローバル展開商品売上構成比推移



グローバル展開商品粗利率

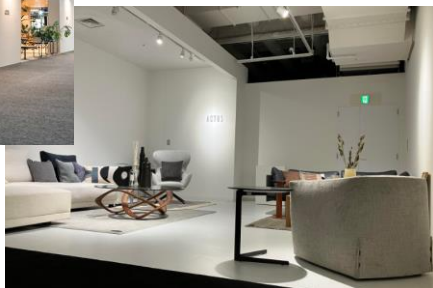


コクヨとの連携によるオフィス領域への拡張

- ・コクヨ×アクタスで営業・商品開発面での連携を強化し、2030年にはオフィス領域で2024年比約7倍の売上を目指す
- ・オルガテック東京2024ではアクタスのライブオフィスを再現したブースでプロモーションを開始
- ・11月からコクヨ東京ショールームにアクタス展示スペースを開設し、コクヨの法人顧客への露出を開始



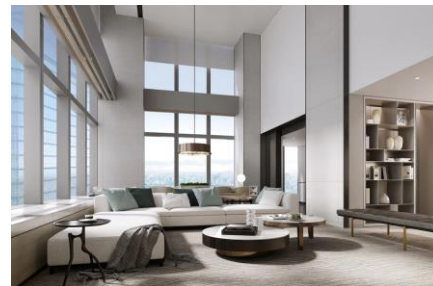
オルガテック東京2024
アクタス展示ブース



コクヨ東京ショールーム
アクタス展示スペース

ハイブランドを活用したレジデンス領域への拡張

- ・アクタスは世界のインテリアシーンを牽引する、イタリアのトップ・ブランド「Poliform」の日本輸入総代理店
- ・ターゲットとなるプレミアム集合住宅物件は2030年までに約60棟
- ・設計事務所アカウントを強化し、レジデンス事業を大きく成長させる



2023年 麻布台ヒルズレジデンスに
システム収納を納入<イメージ写真>



Poliform

第3四半期業績推移

3Q累計

単位：百万円

	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2025年実績
売上高	223,315	224,899	248,813	252,006	265,650
売上総利益	87,942	87,246	96,737	100,118	107,769
(率)	39.4%	38.8%	38.9%	39.7%	40.6%
販売費及び一般管理費	69,593	72,283	77,059	82,228	86,278
(率)	31.2%	32.1%	31.0%	32.6%	32.5%
営業利益	18,348	14,963	19,677	17,890	21,490
(率)	8.2%	6.7%	7.9%	7.1%	8.1%
経常利益	14,540	17,555	21,667	19,197	21,793
(率)	6.5%	7.8%	8.7%	7.6%	8.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,505	13,053	14,874	16,374	16,723
(率)	5.2%	5.8%	6.0%	6.5%	6.3%
EBITDA	23,889	20,667	26,379	24,595	27,707

(注)当第1四半期連結会計期間より、一部の賃貸等不動産の損益表示方法を変更したため、2024年実績の売上高及び売上総利益、営業利益、EBITDAは組替え後の数値です。

第3四半期業績推移(セグメント別)

3Q累計

単位：百万円

		2021年実績	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2025年実績
ファニチャー事業	売上高	105,735	100,357	117,464	118,959	128,840
	営業利益	15,528	12,795	17,872	17,297	20,987
	(率)	14.7%	12.7%	15.2%	14.5%	16.3%
ビジネスサプライ流通事業	売上高	70,899	71,864	73,442	74,614	77,634
	営業利益	1,945	2,315	2,900	3,470	3,454
	(率)	2.7%	3.2%	3.9%	4.7%	4.4%
ステーションナリー事業	売上高	54,744	58,312	63,968	63,625	62,282
	営業利益	4,983	5,230	5,322	5,102	5,496
	(率)	9.1%	9.0%	8.3%	8.0%	8.8%
インテリアリテール事業	売上高	13,431	14,140	14,966	15,611	17,462
	営業利益	776	708	504	397	541
	(率)	5.8%	5.0%	3.4%	2.5%	3.1%
その他	売上高	308	292	306	304	408
	営業利益	△4	△95	△193	△373	△342
	(率)	-	-	-	-	-
調整額	売上高	△21,803	△20,067	△21,335	△21,108	△20,978
	営業利益	△4,881	△5,992	△6,728	△8,005	△8,646
合計	売上高	223,315	224,899	248,813	252,006	265,650
	営業利益	18,348	14,963	19,677	17,890	21,490
	(率)	8.2%	6.7%	7.9%	7.1%	8.1%

(注)当第1四半期連結会計期間より、一部の賃貸等不動産の損益表示方法を変更したため、2024年実績の売上高及び営業利益は組替え後の数値です。

通期業績推移

通期

単位：百万円

	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2025年 修正目標
売上高	292,617	300,929	328,753	338,837	357,000
売上総利益	113,526	116,671	127,392	133,424	144,700
(率)	38.8%	38.8%	38.8%	39.4%	40.5%
販売費及び一般管理費	93,618	97,543	103,561	110,892	119,700
(率)	32.0%	32.4%	31.5%	32.8%	33.5%
営業利益	19,907	19,128	23,830	22,531	25,000
(率)	6.8%	6.4%	7.2%	6.6%	7.0%
経常利益	16,415	21,161	25,989	24,410	24,800
(率)	5.6%	7.0%	7.9%	7.2%	6.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,703	18,237	19,069	21,787	20,500
(率)	4.7%	6.1%	5.8%	6.4%	5.7%
EBITDA	27,220	26,550	32,402	31,493	34,000
ROE	6.0%	7.8%	7.8%	8.5%	8%程度

(注) 当第1四半期連結会計期間より、一部の賃貸等不動産の損益表示方法を変更したため、2024年実績の売上高及び売上総利益、営業利益、EBITDAは組替え後の数値です。

通期業績推移(セグメント別)

単位：百万円

		通期				
		2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2024年 実績	2025年 修正目標
ファニチャー事業	売上高	136,058	134,886	154,472	162,415	176,000
	営業利益	17,744	16,523	22,458	23,459	27,000
	(率)	13.0%	12.2%	14.5%	14.4%	15.3%
ビジネスサプライ 流通事業	売上高	93,405	95,314	97,820	98,935	104,000
	営業利益	2,557	3,269	3,892	4,471	4,100
	(率)	2.70%	3.4%	4.0%	4.5%	3.9%
ステーショナリー 事業	売上高	72,702	78,457	83,899	83,575	82,000
	営業利益	6,069	6,786	6,802	5,993	6,600
	(率)	8.3%	8.6%	8.1%	7.2%	8.0%
インテリアリテー ル事業	売上高	18,043	19,716	20,348	21,238	23,000
	営業利益	944	1,087	698	521	800
	(率)	5.2%	5.5%	3.4%	2.5%	3.5%
その他	売上高	441	413	438	476	700
	営業利益	10	△ 133	△ 370	△ 479	△ 500
	(率)	2.3%	-	-	-	-
調整額	売上高	△ 28,034	△ 27,857	△ 28,226	△ 27,803	△ 28,700
	営業利益	△ 7,418	△ 8,404	△ 9,651	△ 11,434	△ 13,000
合計	売上高	292,617	300,929	328,753	338,227	357,000
	営業利益	19,907	19,128	23,830	22,532	25,000
	(率)	6.8%	6.4%	7.2%	6.5%	7.0%

(注)当第1四半期連結会計期間より、一部の賃貸等不動産の損益表示方法を変更したため、2024年実績の売上高及び営業利益は組替え後の数値です。

〒108-8710 東京都港区港南1-8-35 THE CAMPUS

コクヨ株式会社

ファイナンス & アカウンティング本部

エンタープライズバリューマネジメント統括部 IRユニット

E-Mail : ir@kokuyo.com

KOKUYO

※本資料で記載されている業績予想、将来予測は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、
今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい